

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	鋼構造座屈小委員会	主 査 名：金尾伊織 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：五十嵐規矩夫)
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>目的：最新の研究成果を反映させた「鋼構造の座屈に関する諸問題」を出版し、「鋼構造の座屈に関する諸問題」で取りまとめた最新の研究成果を踏まえ、「鋼構造座屈設計指針」の改定方針を議論し、改定に向けた知見の蓄積と整理を行う。</p> <p>初年度：「鋼構造の座屈に関する諸問題」の執筆内容の確認及び修正を行う。</p> <p>2 年度：「鋼構造の座屈に関する諸問題」の出版、講習会を開催する。</p> <p>3 年度：構造指針における「鋼構造座屈設計指針」の位置づけを確認し、改定方針について議論する。WG では、米国 SSRC (Structural Stability Research Council) と連携し、「鋼構造の座屈に関する諸問題」に基づく英文出版物の準備を進める。</p> <p>4 年度：改定方針に基づき、「鋼構造の座屈に関する諸問題」における最新の知見を含めた各テーマの再検討を実施し、指針の構成を確定する。また、WG では「鋼構造の座屈に関する諸問題」に基づく英文出版物の刊行準備を進める。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：金尾伊織 (京都工芸繊維大学) 幹事：城戸將江 (北九州市立大学) 委員：五十嵐規矩夫 (東京工業大学), 木村祥裕 (東北大学), 田川 浩 (広島大学), 中澤祥二 (豊橋技術科学大学), 倉田真宏 (京都大学), 小橋知季 (千葉工業大学), 松井良太 (北海道大学), 宇佐美徹 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	<b>鋼構造座屈研究国際連携WG</b> 目的：鋼構造座屈小委員会では座屈に関する新しい知見や評価手法・設計法については、「鋼構造物の座屈に関する諸問題」として出版してきた。しかし、国内の最先端研究の国際的認知度は必ずしも高くない。本 WG では、諸問題の概要を英文化して国際発信し、国際的にネットワークを持つ米国の座屈関連の業界団体との連携により、国内研究に国際的な視点を取り込み、日本の最先端の知見が他国の設計指針や研究プロジェクトに取り入れられるような機会を増やす取り組みを行う。	
2023 年度予算	240,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s39/">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s39/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—

<p><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>昨年度出版した鋼構造座屈に関する諸問題 2022 の成果に基づき、座屈設計指針改定方針について、議論を重ねた。指針のスリム化を進めること、今後の構造系指針体系における座屈設計指針の位置づけを明確にして、大きく改定する方針は概ね同意を得られた。来年度の詳細検討に繋げるための基礎検討は、概ね計画通りに進めることができた。</p>
<p><b>委員会活動の問題点・課題</b></p>	<p>委員会の対面・オンライン開催が定着し、委員会開催の効率化は図られたが、議論の内容によっては進行、意見交換が難しい面もあり、今後の開催方法、回数に関しては検討の余地がある。</p>